

ガードナー

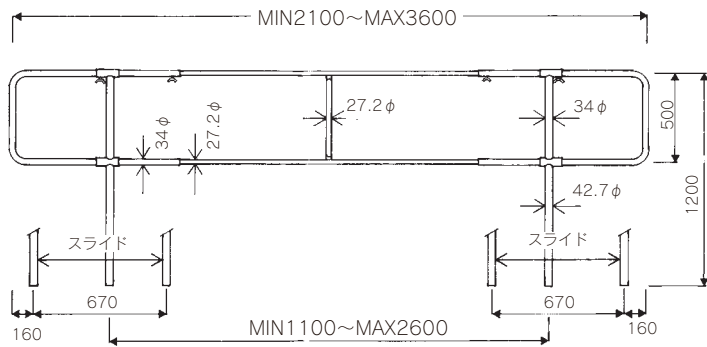
伸縮式開口部落下防止手摺



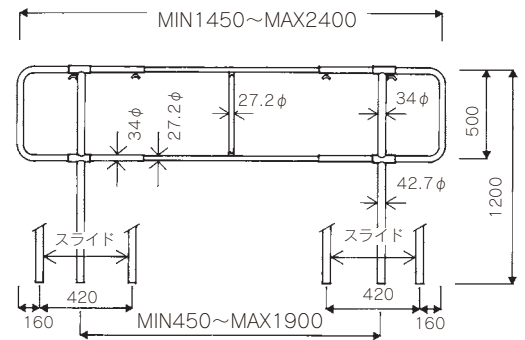
特長

- 従来、単管・クランプで組んでいた落下防止手摺をスマートな一体構造としました。
- 手摺長さ及び支柱間隔が伸縮調整でき、ガードナーL型とS型との組み合わせにより、あらゆるスパンに対応できます。
- 専用の養生品により、サヤ管の隙間へノロが入るのを防げます。
- 単管・クランプで養生するよりも、ガードナーを使用後の方が後処理がラクに出来ます。

諸元・寸法

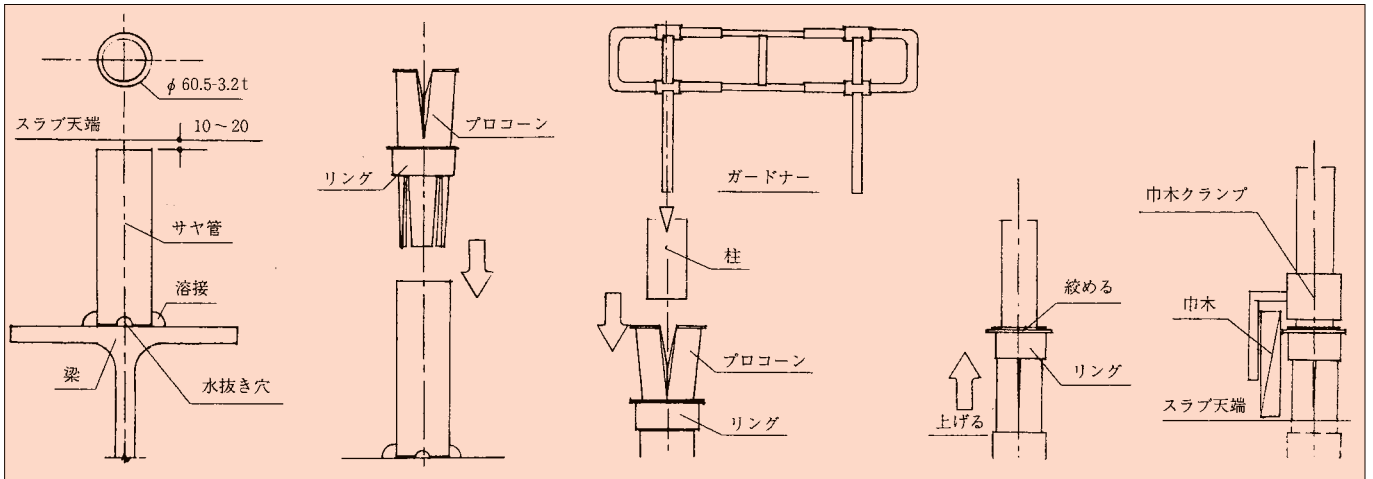


ガードナーL型 (18.5kg)



ガードナーS型 (15kg)

施工手順

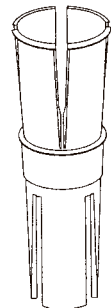


- ① サヤ管を梁上に溶接します。
- ② プロコーンをサヤ管に差し込みます。
- ③ プロコーンのリングを下げてガードナー柱を差し込みます。
- ④ プロコーンのリングを上げて設置完了です。
- ⑤ 巾木クランプにて巾木を取り付けます。

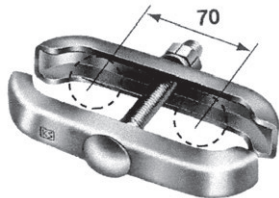
オプション一覧 (リース品・販売品)



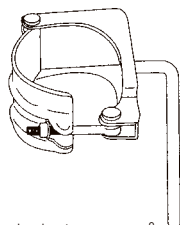
サヤ管60.5φ×3.2t



プロコーン



手摺ジョイント金具



巾木クランプ

◇ 注意事項

伸縮棧の支柱からのはね出し寸法は支柱間隔の1/4以下として下さい。(L型最大500mm以下、S型最大400mm以下) それを越える場合は手摺ジョイント金具を必ず使用して下さい。

⚠ 危険事項

- 上棧や下棧に足場板を掛けたり、踏み棧がわりに使用しないでください。
- 親綱支柱、安全帯の控え等の代用はしないでください。
- 資材場重等の吊元には使用しないで下さい。
- 資材などを立てかけないでください。

※改良のため断りなく仕様変更することがあります。